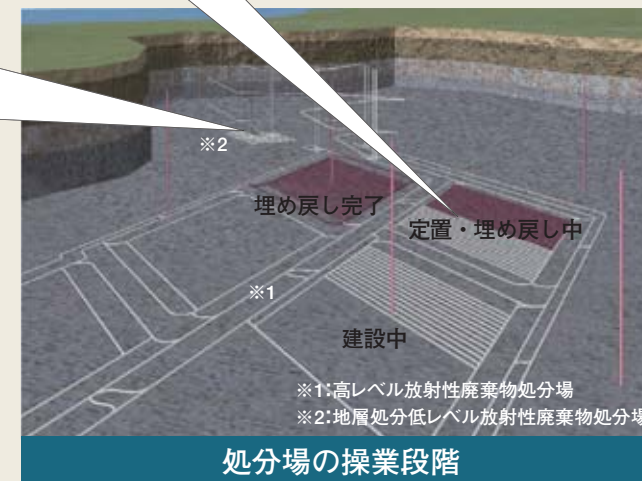
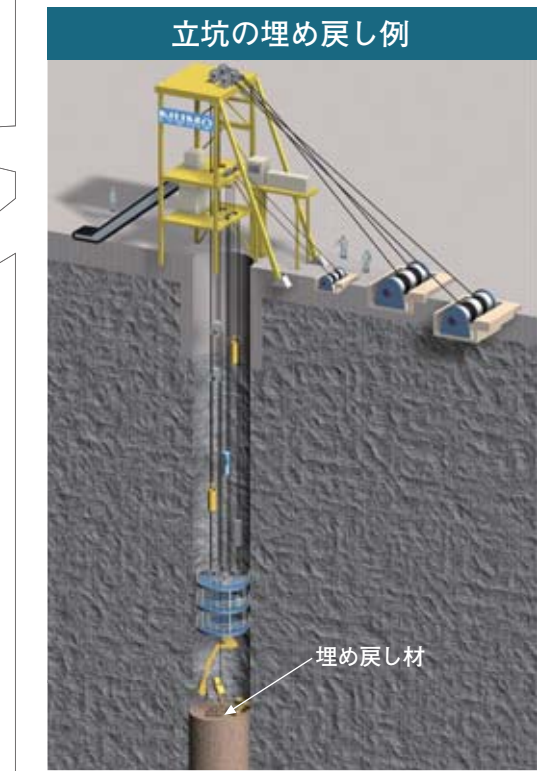
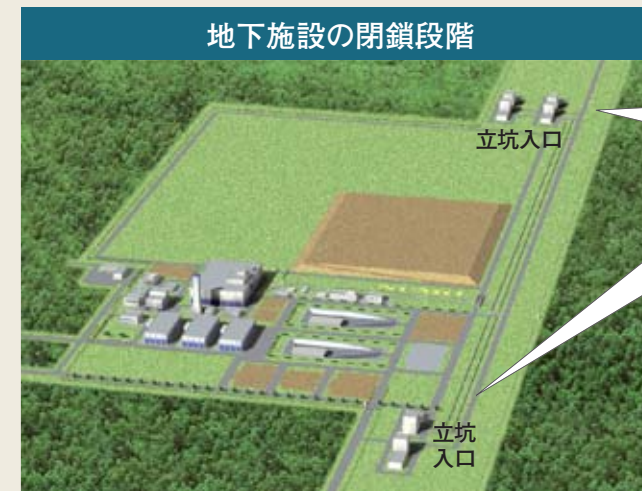
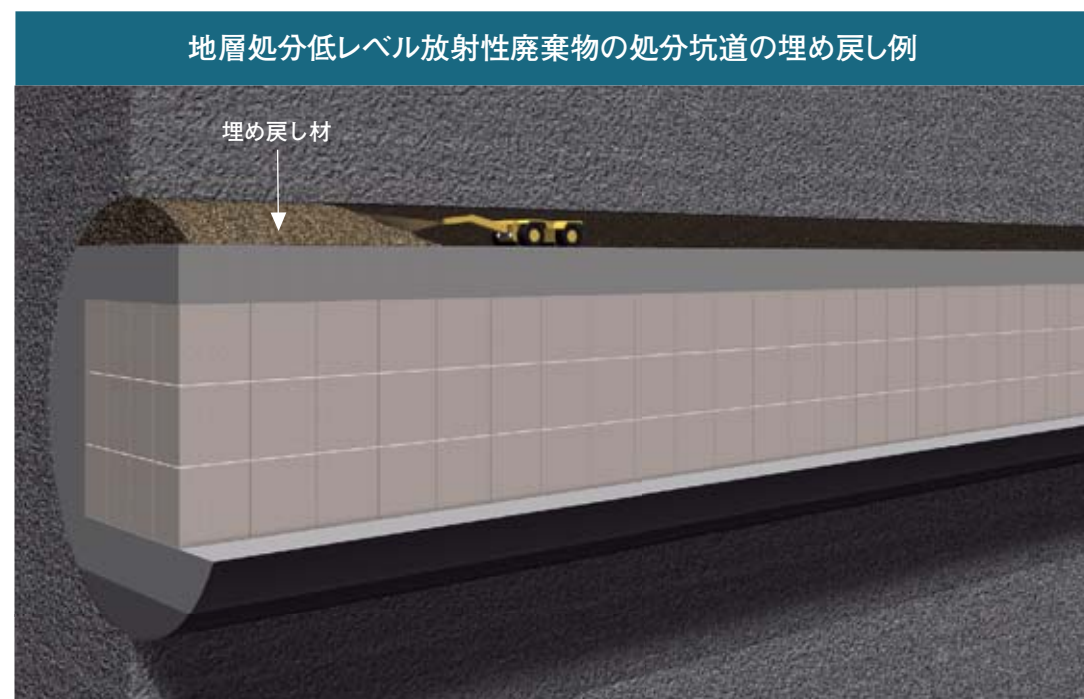
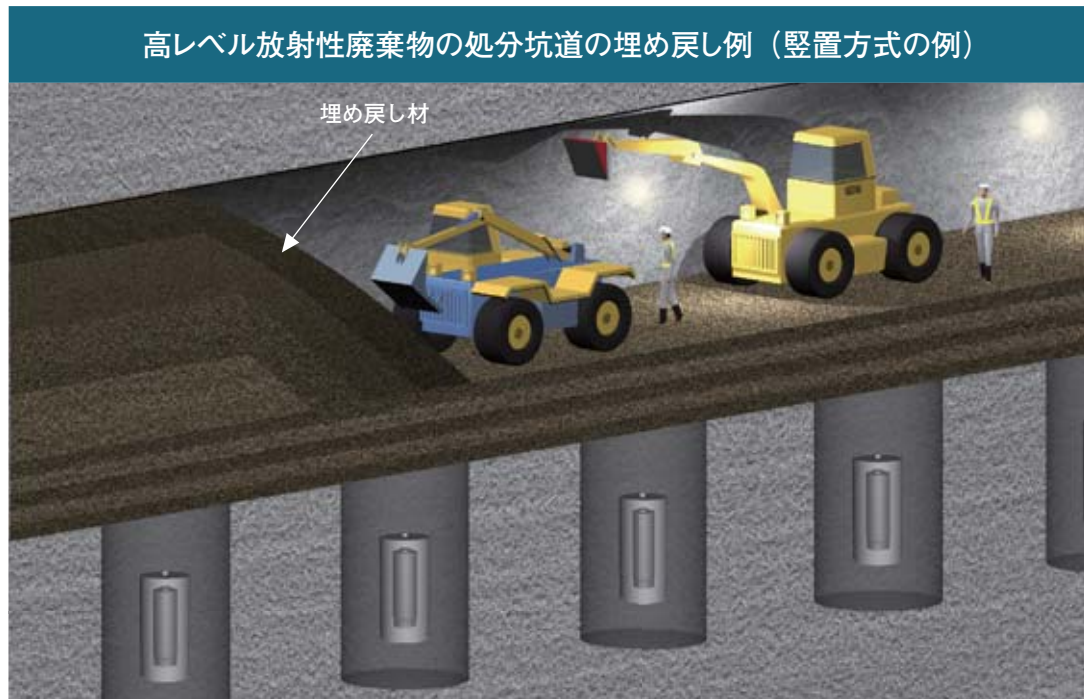


処分場の埋め戻しは、どの ように行われるのですか？

すでに実績のある土木技術を応用し、処分坑道やアクセス坑道などを元のように隙間なくしっかりとふさぎます。

廃棄体を定置後、処分坑道を埋め戻します。
 また、処分場の閉鎖にあたっては、連絡坑道やアクセス坑道（立坑、斜坑）を埋め戻します。
 埋め戻し作業は、すでに実績のある土木技術を応用して行うことができます。
 埋め戻し材には水を通しにくいものが適しており、地下の掘削により発生した岩や土砂を再利用し、これに粘土（ベントナイト）を混ぜて使用します。
 処分坑道や立坑の形状などにあわせ、適切な方法を用いて隙間なくしっかりと締め固めながらふさいでいきます。



*ここでは、高レベル放射性廃棄物の処分場と地層処分低レベル放射性廃棄物の処分場を併置した例を示しています。